



「シンプル」→「伝わる・わかる」→「つながる」→「安心」

学校だより

令和 4年 4月 6日
東京都立羽村特別支援学校
校長 外山 裕介

着任の御挨拶

この春、新たに着任いたしました。校長の外山裕介（とやま ゆうすけ）と申します。

保護者・地域・学校が一丸となって特別支援教育を推し進めている同校に着任した喜びは申し上げるまでもございません、と同時に、その責務の重さに身のひきしまる思いがいたしております。前校長をはじめ、諸先輩方の偉大な功績を受け継ぎ、「一人一人の可能性を尊重し、生きる力を育てる学校」を目指していきます。



失敗しても許される
何度もやり直しができる
これならできそう
いつも自分を見てくれている
信頼されている 信頼できる

子供たちがこのように思えることが「安心して身をゆだねられる人間関係」ではないでしょうか。

「シンプル」→「伝わる・わかる」→「つながる」
↓
「安心」

我々はシンプルな伝え方を基本とし、子供たち自身が、何をしたらよいか分かり、安心して生活を送りながら、地域社会とつながることによって、子供も保護者も地域も安心する特別支援教育を追求していきます。

今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

感染症感染拡大の防止

挨拶の中にも書きましたが、今、本校は感染拡大の新たなフェーズに入っていると伺えます。行事や授業において、変更が余儀なくされる場合も考えられます。

お子様の自宅待機のお願いや、教員の自宅待機による、指導体制の変更も起こる可能性があります。このことは、長ければ今年度いっぱい続くことも予想されます。

できる限りの感染拡大を防ぐため、皆様への情報提供も、もう少し詳しくできるよう検討中です。

御理解と御協力をお願いいたします。

学校だよりはHPにもアップされています。

将来的に学校だよりのオンライン配布の可能性も考え、スマートフォンでも読めるよう文章を2段組みといたしました。感想等ございましたら、連絡帳等を通してお聞かせください。

加速度的に変化する社会

ICT機器やネット環境等の劇的な革新に伴い、加速度的に社会が変化し続けています。ちょっと前まで、携帯電話が道案内をしてくれるなんて、思ってもみませんでした。また、台風被害、大雨、地震等の自然災害は、地球温暖化とも関係しているのか、いつ起きても不思議ではなく、常態化しているともいえます。子供たちが楽しみにしていた宿泊学習も、昔と同じようにはできなくなりました。そして、新型コロナウイルス感染症は、その姿を変化させながら、いまだに猛威を振るっており、その中でも我々は、会議の書面開催やイベントのオンライン開催、人数制限やハイブリッド開催等、できる限りの工夫をしながら、人と人とのつながりを大切にしてきました。しかし、残念ながら、本校の周りでは、これから感染拡大の兆候も見られているようです。

生きる力を育てる

様々な困難から、人と人とのコミュニケーションもままならない現代において、「児童・生徒一人一人の、生きる力を育てる」という目標を達成するためには、子供たちが望ましい人間関係の中に安心して身をゆだね、見通しをもち、あらゆる手段を活用してコミュニケーションすることによって、学校や地域社会との信頼関係を築くことが重要です。

「安心して身をゆだねられる人間関係」とは、どのようなものでしょうか。

(右上に続く)